

するするDo

2019年4月に、タイ国のキングモンクット工科大学トンブリ校からお招きをいただき、客員教授として研究とすこしのセミナーを開いた。そこでは、世界に出られるように物理などでは欧米で発刊された英語の教科書が使われていた。そこで、たとえば「電子」および「陽子」などの専門用語をタイ語で何と言うか学生さんに尋ねたところ、それぞれ「อิเล็กทรอนิกส์ (イレクトロニーク) 」および「โปรตอน (プロトーン) 」であった。ここで、かっこ内は黒澤が耳で聞いてカタカナ語にしたもので、これはelectronやprotonといった英語そのものであった。

だから日本がすごいということを行いたくてこの文章を書いているわけではないが、日本では西洋からの専門用語を「日本語化」する動きが江戸時代～明治時代を中心に行われた。たとえば、蘭学者の宇田川榕菴（うだがわ ようあん、1798年- 1846年）が「元素」、「酸素」、「水素」、「炭素」、「圧力」、「亜硫酸」、「塩酸」、「王水」、「温度」、「凝固」、「金属」、「結晶」などの新語を創った（たとえば参考文献[1]を参照）。ちなみに、「珈琲」なども宇田川氏の考案である。

するするDo

温度や結晶などは、単に科学用語の範囲にとどまらず、いろいろな意味が付け加えられ、「結晶」と語源となった「クリスタル」が少し違ったとらえ方をされている印象もある。もちろん、このような専門用語の国語化は「ガラパゴス化」し、世界標準からずれてしまうなどの可能性もあるが、子供のうちから科学、社会制度などを慣れ親しむ一つの要因になるのではないかと考えている。

そんなこともあり、タイでの講義で例えばと、下記のような変換を提案してみた[2]。タイ語の文法は不勉強で造語ルールがあるとすれば、それと一致するかは不明なので、造語自体はぜひタイの方が、よろしければ行ってほしいと思っている。

English	Present	New word (Thaification)	日本語の補足 (2020年7月追記)
Physics	ฟิสิกส์	ทุกสิ่ง + วิจัย	物理：万物の + 研究
Chemistry	เคมี	เปลี่ยนแปลง + วิจัย	化学：変化する + 研究
Electron	อิเล็กตรอน	ไฟฟ้า + ธาตุ	電子：電気 + 素子
Proton	โปรตอน	บวก + ธาตุ	陽子：正（プラス） + 素子
Neutron	นิวตรอน	เป็นกลาง + ธาตุ	中性子：中性 + 素子

するするDo

日本語というのは、面白いもので、単語の日本語化とともに動詞の日本語化も簡単に行ってしまう。それがサ変動詞「する」である。このサ変動詞による日本語化は高校時代の国語で、担当のK先生[3]に教わったことの全くの受け売りではあるが、未だに記憶に残っている。たとえば、「得る」という日本語に対して、「獲得する」「ゲット(get)する」などである。特に、ゲットするは、ポケモンの中で使われはじめて、ここ20数年で市民権をゲットした言葉で、その推移を間近に観察できて興味深かった。

「する」を使えば、なんでも、日本語化してしまうのだが、新語が流行し、一般化する上では、特に小～高校生の中で、語感や「使う」と受けるといった環境がフィットすることが重要なかもしれない。英語（もとはフランス語）でgetよりもやや格調高いとされるacquireを使って「アクワイヤーする」では、今現在では受け入れ難いであろう。

外から、あらゆるモノや概念を取り入れて、それにアレンジを加えて、時にはオリジナルと全く異なる「文化」にしてしまう過程で、言葉の日本語化が容易にできる点はとても重要であろう。そのうち、宇宙人の話す言葉も日本語化してしまうのではないであろうか。

Teddy Pendergrass の “Do Me”[4]を聴きながら
2020年7月4日

参考文献・資料

[1] 『日本の化学の父 宇田川榕菴のライフワーク』
函館工業高等専門学校紀要 2017 年 51 巻 p. 1-10
伊地智 昭亘, 宇月原 貴光

https://doi.org/10.20706/hakodatekosen.51.0_1

[2]
仏暦2562年/西暦2019年/平成31年4月25日 セミナー
(キングモンクット工科大学トンブリー校)
Introduction of Scintillators and tis applications
~"Radiation: Messenger of The Four Fundamental Forces"~

[3]
<https://www.youtube.com/watch?v=ECXeufGdLjw>

[4]
https://www.youtube.com/watch?v=XKHHxy_jMBU